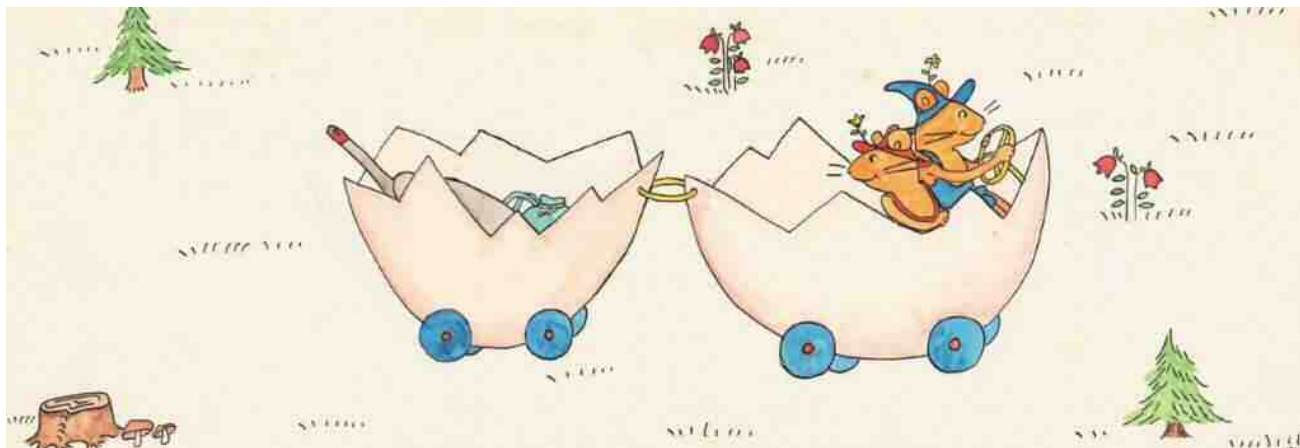


宮城県美術館所蔵

絵本原画の世界 2022

The World of Illustrations for Children's Books 2022



① 山脇百合子 「ぐりとぐら」26-27 頁原画 宮城県美術館所蔵

こどものとも—「ぐりとぐら」も、生まれた場所。

「こどものとも」は 1956 年の刊行以来、世代を超えて愛される絵本の数々を生み出してきた福音館書店の月刊絵本です。子どもが最初に出会う絵本にこそ芸術性の高い絵をとの思いから、幅広い分野の作家たちに絵を求め、やがてそこからは絵本を主な創作の舞台とする作家も育っていきました。本展では、宮城県美術館が所蔵する貴重な絵本原画コレクションの中から、「こどものとも」の人気作品はもちろん、今回初めて展示するものや新潟県ゆかりの作家の作品もあわせ、全 50 タイトルあまり、35 作家の絵本原画を展示します。

この絵本も
「こどものとも」！
人気作品の原画を展示



② 林明子 「はじめてのおつかい」表紙・裏表紙原画 宮城県美術館所蔵

「ぐりとぐら」、「はじめてのおつかい」、「なんじゃもんじゃはかせ」、山本忠敬の乗り物を描いた絵本。今も人気を集めているタイトルの数々も、「こどものとも」から生まれた作品たちです。ワクワクしながら絵本の世界に入り込んだあの頃、子どもに絵本を読み聞かせたあの頃を思い起こさせるような絵本原画の数々を展示します。

みどころ



みどころ²

多彩な
ジャンルの
描き手たち

日本画家、洋画家、彫刻家、漫画家、デザイナー、哲学者…

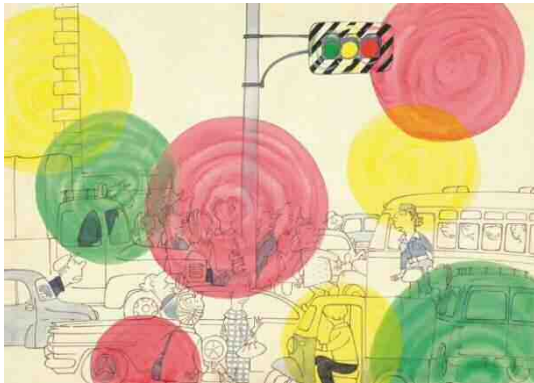
「こどものとも」の創刊者・松居直（まつい・ただし）は、さまざまな分野から絵本の描き手を見つけ、起用していきました。抜擢された作家たちの側も、絵本を創作の舞台に思い思いの表現を試み、独創的な作品が生まれていったのです。本展では、出版された絵本では使われなかった未使用原画や絵本のラフスケッチを展示し、絵本づくりの舞台裏もご紹介します。

【出品予定作家】全 35 人

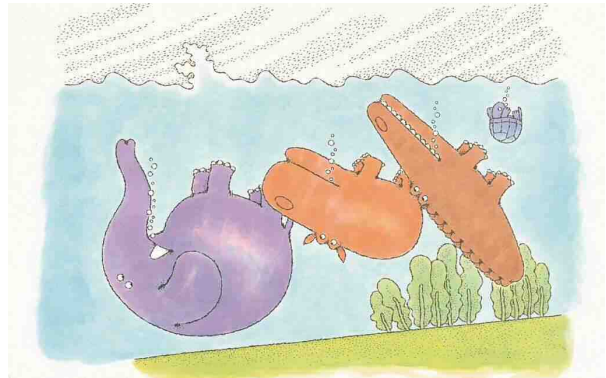
秋野不矩、朝倉 摂、池田龍雄、太田大八、太田 忠、小野かおる、串田孫一、クロード岡本、小出保子、齋藤眞成、佐藤忠良、竹山 博、長 新太、寺島龍一、中谷貞彦、中谷千代子、なかのひろたか、西巻茅子、馬場のぼる、林明子、土方久功、堀文子、松下紀久雄、水四澄子、三好碩也、村田道紀、村山知義、矢吹申彦、山田三郎、山中春雄、山本忠敬、山脇百合子、吉井 忠、渡辺三郎、三芳悌吉

※太字は、宮城県美術館所蔵の絵本原画展に初出品の作家（11人）

※「三芳悌吉」は新潟会場のみ特別出品



③ 馬場のぼる 「ぴかくんめをまわす」
10-11 頁原画 宮城県美術館所蔵



④ なかのひろたか 「ぞうくんのおおかせさんぼ」
28-29 頁原画 宮城県美術館所蔵

三芳悌吉（1910-2000）とは？

東京生まれ、新潟育ち。現在の新潟大学や東京大学の医学研究室で顕微鏡図を作成した経験から、緻密な描写を得意としました。「こどものとも」をきっかけに絵本作りを始め、新潟の風景を題材にした作品も手掛けています。本展出品の「村のお医者さん」では昔懐かしい農村風景を細部まで丁寧に描き出しています。

みどころ³

新潟限定！
特別出品・三芳悌吉

みよしていきち



⑤ 三芳悌吉
「村のお医者さん」
14 頁原画
宮城県美術館所蔵

基本情報

展覧会名 「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022」 こどものとも—「ぐりとぐら」も、生まれた場所。
※ 下線箇所は、サブタイトル。省略可。

会期 2022年4月9日(土)～5月22日(日) 40日間

会場 新潟市美術館 企画展示室 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
Tel 025-223-1622 Fax 025-228-3051
ウェブサイト www.ncam.jp SNS www.facebook.com/ncam.tsunagaru/

休館日 月曜日(ただし4月25日、5月2日は開館) ※GW中は無休

開館時間 午前9時30分～午後6時(観覧券販売は閉館30分前まで)

観覧料 一般1,200円(900円)、大学生・高校生900円(700円)、中学生以下無料
※ ()内は20名以上の団体料金、
リピーター割引料金(本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体割引)、
新津美術館との二館相互割引料金(2022年度以降の新津美術館の企画展観覧券持参の方)
※ 会期中は、本展の観覧券で「コレクション展」もご観覧いただけます
※ 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料(受付でご提示下さい)

★夕暮れ割引★ 平日午後3時以降に当日観覧券をお求めの方は団体料金でご覧になれます

前売券 900円(一般のみ) 発売期間 2月22日(火)～4月8日(金)
〔前売券取扱所〕セブン-イレブン(セブンコード:093-187)、ローソン(Lコード:L3151)、
インフォメーションセンターえん(メディアシップ1F)、新潟伊勢丹、新潟市美術館、新潟市新津美術館
※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます。

主催 新潟市美術館、新潟日报社、NST新潟総合テレビ
特別協力 福音館書店、宮城県美術館 **企画協力** キュレーターズ
お問合せ 新潟市美術館(担当:菅沼、星野、落合) 〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
Tel 025-223-1622 Fax 025-228-3051 E-mail museum@city.niigata.lg.jp

関連イベント

「こどものとも」と
宮城県美術館絵本原画コレクション
日時 4月29日(金・祝) 午後2時～(約90分)
講師 菅野仁美氏(本展企画者、宮城県美術館 研究員)
会場 新潟市美術館 2階講堂 定員:100名
※ 要本展観覧券(半券可)

● [スライドトーク]
学芸員と一緒に「絵本のえ」を見てみよう!
日時 4月17日(日)・5月8日(日)
各日午後2時～(約30分)
講師 新潟市美術館 担当学芸員
会場 新潟市美術館 2階講堂 定員:100名
※ 当日先着順、聴講無料



⑥ 山中春雄「ぞうのたまごのたまごやき」
12-13 頁原画 宮城県美術館所蔵



⑦ 山本忠敬「とらっくとらっくとらっく」
10-11 頁原画 宮城県美術館所蔵

★ 本リリースに掲載の画像①～⑦は、すべてデータでのご提供が可能です。但し、ご使用は本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。掲載時は、画像に記したクレジットを必ず明記して下さい。

「宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界 2022」

こどものとも—「ぐりとぐら」も、生まれた場所。

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆記事掲載時の作品写真（画像データ）及び、読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1部ご提供ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	月 日 時頃 ・ 取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 ※画像を希望する場合は、該当する画像の番号を記してください。	